

# 保育園からこんにちは！

## Vol.2 グリム保育園

「グッモーニング」「サンキュー」「シーユー」。お部屋いっぱい園児たちの元気な英会話が飛び交っています。幼少の頃から異文化に親しみ理解を深めてもらおうと、国際交流員のウルリーケ・エアメルさん（ウリさん）を招き、年長児を対象とした『英語で遊ぼう』が市内の五つの公立保育園で始まりました。

9月4日にグリム保育園でスタートした『英語で遊ぼう』では、講師のウリさんが指人形を使いながら「ホワッチュアネーム？」と園児に質問すると、少し緊張気味に「マイネームイズもえ…！」と答えていました。また、「グッドモーニングソング」の音楽に合わせて体を動かしながら楽しそうに歌っていました。

グリム保育園では、以前から様々な事業に国際交流員を招いて異文化交流に努めており、園児や保護者からも好評でした。

今後、『英語で遊ぼう』は、日常的な挨拶の仕方を中心に、数字や色、外国の文化について学び、これからの国際化を担う人材を育てていくことでしょう。



## 高松市親善交流(小学生派遣)事業に行ってきました

8月7日～9日の3日間にわたり「香川県高松市」（旧香川県綾歌郡国分寺町）との友好親善交流として小学生派遣事業を実施しました。「国分寺町」という所以で始まった交流ですが、両町とも昨年1月10日に合併し、それぞれ新しい市名に変わりました。しかし、町名が変わっても今までどおり友好親善を図るため、地域間交流という形で派遣事業を行いました。今回の派遣団は下野市内小学6年生18名、引率ボランティア4名と団長、事務局の24名でした。

初日は、「金刀比羅宮参り」に始まり、地元小学生による太鼓演奏での熱烈な出迎えを受けたのち、讃岐国分寺資料館や史跡の見学などを行いました。2日目は、フェリーに乗り、オーリーブオリーブで有名な「小豆島」に向かいました。「二十四の瞳」で知られる映画村の見学や、ロープウェイでの「寒霞溪」散策など小豆島を満喫し、その後、屋島を見学しました。そして最終日には、瀬戸内海での「地引網」を体験しました。子どもたちのほとんどが初めての体験だったようで、大いに楽しめた様子でした。地引網で捕獲した魚やタコなどを、地元の小学生や関係者の方々と一緒にバーベキューでおいしくいただきました。

3日間という短い時間ではありましたが、高松市の小学生との交流や「讃岐国分寺」の歴史や自然にふれあうことにより、お互いの友好親善を深めることができました。

今回の交流事業を通して、参加した子供たちには、「友好親善の大切さ」や「人とのふれあい」と同時に、地元への郷土愛も深めてもらい、今後も友好の輪を広げていってほしいと思います。



### 行政カレンダーの「テレホンガイド」について（お詫びと訂正）

平成19年度行政カレンダーの「テレホンガイド」の中に載っております市内の各駅の電話番号につきましては、JR東日本において、問い合わせの電話番号が統一され、変更になっておりました。

お問い合わせの際には、下記の電話番号におかけくださるよう訂正させていただきますとともに、ご迷惑をおかけしました方々に深くお詫び申し上げます。

#### 【JR東日本テレホンセンター】

- 列車時刻、運賃・料金、空席情報 050-2016-1600
- お忘れ物 050-2016-1601
- その他 050-2016-1602